

令和2年度

予算のあらし

令和2年度の当初予算の主な事業をまとめました。

●問合せ 財政課(☎34・6614)

1 「すくすく」育つまち、とよた

■安心して出産・子育てできる環境づくりの推進

●子育て家庭への支援 1,141万円

●保育需要への対応と良好な保育環境の整備 **拡充**
2億4,059万円

0～2歳児の受入枠を拡大するため、私立園の園舎新築に対する補助を実施します。また、トイレ洋式化の推進など、保育環境の整備を実施します。

●こども園などにおける「おむつ回収」の実施 **新規**
2,045万円

保育現場の衛生環境の向上や保育師・保護者の負担軽減のため、おむつ回収を令和2年4月から開始します。

●公立こども園へのICT導入 4,312万円

■豊かな人間性を育む教育環境づくりの推進

●新時代の学びを支えるICT環境の構築 **拡充**
55億8,527万円

※3月補正分48億4,000万円を含む

高速大容量の校内通信ネットワークや児童生徒1人1台のタブレット端末などの整備を進め、ICT機器を積極的に活用できる学習環境を整備します。



※校内通信ネットワーク整備は令和2年度中に実施
※タブレット端末などの整備は令和5年度までに順次実施

●複雑化・困難化する教育課題への対応 **拡充**
3億850万円

スクールカウンセラーや心の相談員の増員のほか、相談員などへの指導・助言を行うスーパーバイザーを配置し、相談支援体制を強化します。

●子ども医療費の助成 **拡充** 21億9,582万円

中学生までの医療費無償化の継続に加え、地域活性化の大きな原動力になっている若者に対する「ミライへの投資」として、新たに高校生・大学生などの入院費の無償化を実施します。

■誰もが憩い、学び、楽しめる環境づくりの推進

●鞍ヶ池公園へのキャンプフィールドの整備 **新規**
5億9,400万円
※3月補正対応

鞍ヶ池公園に民間活力の導入を行い、新たな施設整備とサービス提供を実施します。また、若草山・鞍ヶ池パーキングエリア園地周辺にキャンプフィールドを整備し、新たな魅力を創出します。

●(仮)豊田市博物館の整備 3億9,416万円

●展覧会の開催 1億2,205万円

【美術館】(仮)ボイス+パレルモ展(10月17日(土)から)、デザインあ展(来年1月16日(土)から)^{など}

【郷土資料館】(仮)大渡邊家展(10月3日(土)から)

【民芸館】柳宗悦と古丹波(10月24日(土)から)

2 「ゆうゆう」暮らせるまち、とよた

■住みたい、住み続けたいまちへの取組の推進

- 三河豊田駅前地区優良建築物の整備支援 **新規** 8,280万円

三河豊田駅前地区の土地利用の高度化を図るため、民間による高層住宅建設の事業計画作成に対する支援を実施します。

- 鉄道駅へのアクセス性や利便性向上を図る道路整備 6,463万円

- 土地区画整理事業の推進 56億6,036万円

- 名鉄三河線若林駅付近の高架化の推進 17億2,362万円



■力強い産業(農林・工・商)都市づくりの推進

- 鳥獣害対策の推進 1億1,172万円

- テナント店舗等木質化モデル創出事業補助 **新規** 250万円

地域材の利用促進・認知度向上を図るため、テナント店舗などが地域材を活用して内装や外装、家具などを木質化する費用への補助制度を新設します。

- 花本産業団地の拡張 3億3,234万円

- 高速道路インターチェンジ周辺の産業用地の創出 8,148万円

- 道路ネットワークの強化 31億8,442万円

- ものづくり創造拠点の運営・次世代産業の育成支援 **拡充** 1億2,038万円

ものづくり企業による新たな事業展開やイノベーション創出を支援します。また、「空飛ぶクルマ」をはじめとした次世代産業の育成に向け、環境を整備します。

- 豊田上郷スマートインターチェンジの整備 11億7,250万円

- 建設業分野の業界活性化や人材育成に対する支援 **拡充** 532万円

- 商店街などの魅力創出支援 2,997万円

■誰もが活躍できる働き方改革の推進

- 中高年齢者の雇用促進 **拡充** 560万円

新たに独自求人の開拓やセミナーの開催、相談機能の強化を実施します。

- 女性の「働く」支援 5,092万円

女性の「働く」を総合的に支援する「女性しごとテラス“カプチャーノ”」において、セミナーなどの開催回数や内容の拡充、職場見学やインターン事業の強化などを実施します。

- 外国人のキャリア支援 **拡充** 334万円

定住外国人を対象とした日本語教室において初級コースを増設し、外国人に対する就労支援を拡充します。



3 「いきいき」活躍できるまち、とよた

■生きがいづくり、健康づくりの推進

●ボランティアの活躍支援 **新規** 700万円

市民活動団体などの課題解決を支援するため、団体と専門的な知識・技術をもつ社会人ボランティア（プロボノ）をマッチングさせる「プロボノプロジェクト」や、誰もが気軽に市民活動を体験できる機会として「市民活動体験プログラム」を実施します。また、これらに参加した人や団体が、つながりを深めるための交流の機会を創出します。

●地域主体の健康づくりの支援 440万円

●基幹バス・地域バスの運行 10億399万円

12路線の基幹バス、12の地域バスを運行するほか、3地域で地域タクシーを運行し、市民の移動手段を確保します。また、高齢者が車を使わなくても安心して外出できる環境づくりのため、高齢者向けバス割引制度を導入します。

■住み慣れた地域での安心な暮らしを支援する取組の推進

●福祉の相談窓口の運営 **拡充** 2億944万円

あらゆる世代・対象に対応する福祉の相談窓口機能を旧市内の5支所に整備し、個別支援と支え合いの地域づくりを全市的に推進します。あわせて、タブレットなどのICT環境を整備し、支所と本庁の連携を強化することで窓口対応の質を向上します。

●豊田地域医療センター再整備 74億6,040万円

●障がい者グループホームの整備 1億511万円

●寿楽荘の施設整備 **拡充** 1,880万円

利用者の利便性の向上と多様なニーズに対応するため、バリアフリー化の推進や要介護者向け入浴施設の設計を実施します。

●在宅療養の推進 4,533万円

訪問看護人材の確保・育成のため、豊田訪問看護師育成センターの運営に対して負担金を支出します。

また、先進技術を活用した地域リハビリテーションを産学官連携で展開します。



●ふれあい収集の拡大 **拡充** 484万円

ごみの戸別収集「ふれあい収集」を拡充し、ごみ出しに困っている高齢者や障がい者を支援します。

■多様性を認め合い、生かすまちづくりの推進

●外国人幼児向け日本語教室の開催 **新規** 330万円

小学校入学前において、日本語に慣れ親むための教室を新設します。

●窓口における多言語対応の拡充 **拡充** 578万円

自動音声翻訳機やタブレット端末によるテレビ通

訳サービスに加え、電話通訳サービスを導入し、多言語対応を拡充します。

●認知症・若年性認知症への支援 3,590万円

G P S 検索機器の利用促進や認知症初期集中支援チームによる支援などを実施します。

4 「わくわく」楽しいまち、とよた

■訪れたい魅力あるまちへの取組の推進

●ラリーを生かしたまちづくりの推進 **拡充**

4,600万円

クルマのまちとして、自動車文化の醸成と産業の振興を図るため、ラリーの開催支援と地域振興につながるイベントを実施します。



<地方ラリー選手権>

稲武地区 10月3日(土)、4日(日)(予定)

<世界ラリー選手権>

11月19日(木)~22日(日)(予定)

<トヨタガズレーシングラリーチャレンジ>

11月14日(土)、15日(日)(予定)

●2020年豊田国際紙フォーラム **新規** 4,500万円

9月から11月にかけて「豊田国際紙フォーラム」を開催します。各地で作品展示やシンポジウムなどを実施し、小原和紙の魅力を広く発信します。



●観光プロモーションなどの推進 1億1,300万円

●都心環境計画に基づく公共空間の再整備

1億5,228万円

■人と環境の融合。「ミライのフツー」の推進

●(仮)SDGs国際会議の開催 **新規** 1,100万円

持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた本市の取組を国内外にPRし、一層の展開を図るため、関係機関などと連携して国際会議を開催します。

●豊田市つながる社会実証推進協議会の取組加速化 500万円

●MaaS*-Cityとよたの推進 **拡充** 1,019万円

将来のMaaS社会の実現に向け、産官学連携により、課題調査や実証実験を実施します。



※クルマを単なる移動手段ではなく、様々なサービスの媒体として捉える考え方

■「WE LOVE とよた」の推進

●東京2020オリンピック・パラリンピック関連イベントの開催 **新規** 1億2,526万円

4月7日(火)に行われる聖火リレーとその到着を祝うセレブレーションイベントを実施します。また、豊田市ゆかりの「わがまちアスリート」をみんなで応援する「東京2020大会コミュニティライブサイト」を開催し、スポーツの感動や興奮を共有する場を創出します。

●映画を生かしたまちづくりの推進 **新規** 3,000万円

本市を舞台にラリーや定住促進をテーマにした映画製作へ出資し、映画文化の醸成、本市の魅力発信を推進します。

●WE LOVE とよたの推進 1,032万円

本市の魅力の再発見・発信・連携につながる取組を推進します。

5 「こつこつ」備えるまち、とよた

■震災や風水害に備える防災・減災対策の推進

●国土強靱化^{じん}地域計画の策定・災害対策推進計画の見直し 784万円

●マイタイムラインの作成支援 **新規** 459万円
災害時において一人ひとりの適切な避難行動につなげるための防災行動計画「マイタイムライン」の作成を支援し、地域の防災力向上を推進します。

●災害時の電力確保 **拡充** 1,813万円
災害時の停電対策として、PHVの外部給電設備から避難所に直接給電するための整備を行うほか、

外部給電機能を持たないHVから電源を供給できるよう、後付けの外部給電設備の整備を実施します。



●道路・橋りょう・河川の防災対策 15億9,398万円



・道路のり面の危険箇所の点検、監視、対策工事
・平成記念橋を始めとした橋りょうの耐震対策工事
・長田川の改修を始めとした河川の対策工事
・矢作川改修事業への支援

●上下水道施設の災害対策の推進 **拡充** 13億8,730万円

管路や施設の耐震化、施設の停電対策に加え、既設の災害拠点給水施設の改修を行うほか、飲料用循環式耐震性貯水槽を新たに設置します。

■未然に防ぐ。交通安全・防犯対策の推進

●後付け安全運転支援装置への補助 8,640万円

●歩行者保護モデルカー活動の推進 353万円

●事故防止対策 1億6,220万円
事故防止の推進のため、地域要望や事故データなどに基つき、区画線や防護柵などの交通安全施設の整備などを推進します。

●防犯カメラの設置促進 1,500万円

地域ぐるみの防犯体制を強化するため、自治区や自主防犯活動団体に対する防犯カメラ設置費の補助を実施します。新規設置に限らず、更新や移設を補助対象に追加します。

●自主防犯活動への支援 311万円

■地域資源を効果的に活用した地域経営の推進

●公共施設等総合管理計画の改定 782万円

●新技術(AI・RPA・IoT^{など})の活用推進 **拡充** 2,670万円

市民サービスの向上や業務効率化に向けて、AIチャットボットによる行政サービス案内や書類の自

動データ化機能(AI-OCR)の導入を図るほか、行政サービスの更なる効率化・質の向上に向けた「(仮)情報化推進計画」を策定します。

※AIチャットボット：AI(人工知能)を活用し、問合せに対して会話形式で自動応答するプログラム

気候変動への対応

自然災害

- ◆ハザードマップの更新 3,120万円
河川氾濫や土砂災害の情報などを掲載したハザードマップを更新
- ◆河川改修 8億6,392万円
長田川、大見川などの改修事業の推進、矢作川改修事業への支援

水環境・水資源

- ◆河川水質、地下水、事業場排水などの調査 2,342万円
環境の保全を図るための調査
- ◆水道水源のモニタリング調査 1,051万円
水源地域の保全のため、水量や土砂流出などの調査

健康

- ◆熱中症対策 676万円
ポスター掲示やリーフレット配布による啓発。スポーツ施設での暑さ指数の活用[※]
- ◆感染症対策 1,615万円
感染症の予防やまん延を防ぐための発生動向の調査、拡大防止用品の備蓄[※]

自然生態系

- ◆湿地サミットの開催 336万円
湿地自然保護のあり方を検討するサミットを開催
- ◆動植物の生息調査 479万円
地域固有の希少な動植物（カタクリ、ヘイケボタル[※]）の生息・生育状況の調査

市民生活

- ◆住宅用エコ窓設置費等補助金 180万円
空調効率を高める高断熱窓の設置費用の一部を補助
- ◆都心緑化の推進 3,284万円
都心のポケットパークなどの緑化や民有地の緑化に対する補助

産業経済活動

- ◆豊田市つながる社会実証推進協議会 500万円
「未来都市とよたビジョン」の実現に向けて、企業参画の促進、取組事項の検討の推進
- ◆新製品開発・スタートアップへの支援 2,500万円
新製品・新技術等開発補助金を拡充し、新たな価値の創造や新産業創出に取り組む新興企業に必要な経費を補助

農林水産

- ◆間伐の促進 1億1,422万円
間伐を促進し、水源かん養や土砂流出抑止など森林の公益的機能を強化
- ◆農業用施設の防災対策 1億9,289万円
大雨などから農業用地を守るため、農業用ため池、水路、排水機場の整備・改修

基幹的取組

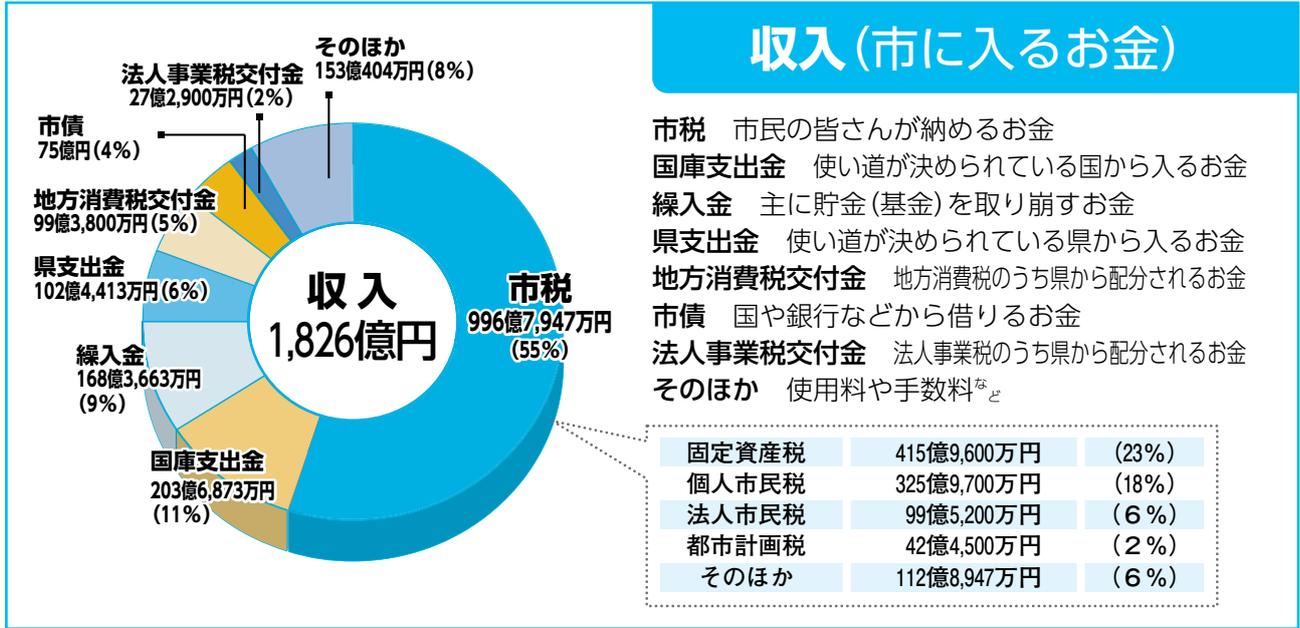
- ◆気候変動への適応に関する調査 1,000万円
気候変動が本市の自然環境、市民生活、農林業などにもたらす影響を総合的に調査し、その適応策を検討



令和2年度豊田市の当初予算

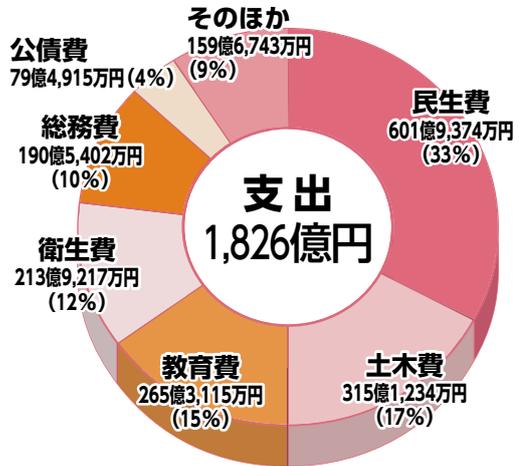
一般会計

1,826億円 (前年度比0.9^{パーセント}減)



支出 (市が使うお金)

- 民生費** お年寄りや障がいのある人、子育てなどを支えるためのお金
- 土木費** 道路や公園などを整備するためのお金
- 教育費** 学校整備やスポーツ・文化などを盛んにするためのお金
- 衛生費** 病気の予防、ごみ処理や環境を守るためのお金
- 総務費** 地域振興や庁舎管理、選挙などのお金
- 公債費** 借入金(市債)を返すためのお金
- その他** 消防費や商工費、農林水産業費など



特別会計 719億3,051万円 前年度比 0.8^{パーセント}減

特別会計とは、特定の事業を行う場合に、一般会計と区別して設置する会計で、その特定の収入をもって特定の支出に充てるものです。

国民健康保険、介護保険、土地区画整理など10会計があります。

企業会計 357億6,629万円 前年度比 3.7^{パーセント}増

企業会計とは、独立採算制を原則とする企業の色彩の強い事業の会計です。

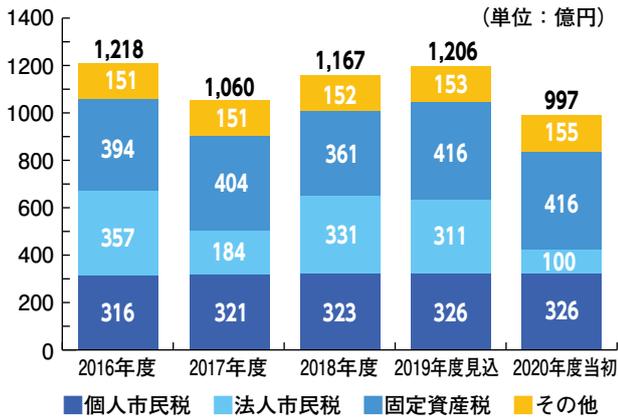
水道事業会計と下水道事業会計の2会計があります。

総額

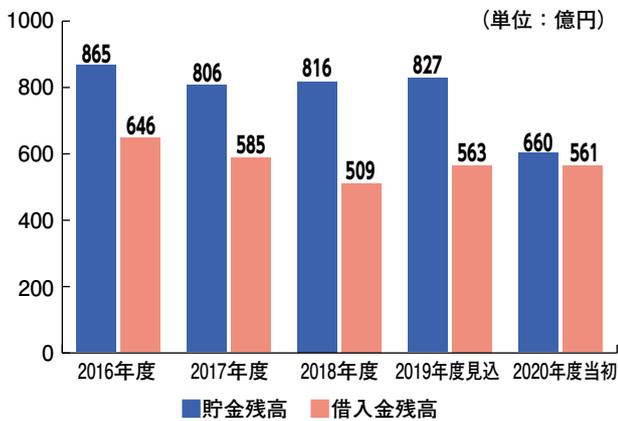
2,902億9,680万円

前年度比
0.3^{パーセント}減

市税の推移



貯金残高と借入金残高の推移



目的のある収入の使い道

都市計画税 42億4,500万円

● 区画整理	22億3,700万円
● 街路事業・公園整備	6億4,600万円
● 下水道事業への出資金	2億4,000万円
● 市債の償還(元金)	11億2,200万円

森林環境譲与税 6,000万円

● 間伐促進事業	3,000万円
● 小・中学校備品	800万円
● その他3事業	2,200万円

地方消費税交付金 社会保障財源分 50億 100万円

● 療養給付費負担金	8億9,500万円
● 介護給付費操出金	8億8,800万円
● 子ども医療助成費	5億2,200万円
● 定期予防接種費	4億3,800万円
● 教育・保育給付費	3億7,200万円
● その他13事業	18億8,600万円

将来のまちづくりへの投資 381億円

- 豊田地域医療センター再整備事業
- 土地区画整理事業
- 名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業
- 朝日丘中学校校舎建設事業
- (仮)松平地域体育館建設事業 など

令和2年度一般会計予算額(市民1人当たり)

42万9,749円

普通建設事業費



道路や建物の建設など

8万9,687円

物件費



施設維持管理費など

8万1,589円

扶助費



児童手当・生活保護費など

7万7,635円

人件費



職員の給料など

7万7,417円

補助費等



補助金など

4万9,459円

繰出金



特別会計などへの補填

2万3,535円

公債費



借入金の返済

1万8,708円

維持補修費



道路や河川の修理など

7,847円

※そのほかの費用は3,872円。令和2年2月1日現在の人口42万4,899人をもとに算出しています